

第1回駅周辺施設活性化推進会議（アスピラート）
議事録等

■開催日時・場所

令和3年10月12日（火）午後2時から午後3時30分まで
文化財郷土資料館2階講座室

■次第

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 委員自己紹介
- 4 会長・副会長の選任
- 5 協議事項
 - (1) アスピラート活性化のコンセプトについて
 - (2) アスピラートの市民スペース等のリニューアルについて
 - (3) アスピラート・ルルサス防府一帯の愛称について
 - (4) その他

■資料等

- ・ 駅周辺施設活性化推進会議（アスピラート）設置要綱
- ・ 委員名簿
- ・ 資料1：コンセプト・スケジュール
- ・ 資料2：市民ギャラリー等改修工事概要
- ・ 資料3：アスピラート・ルルサス防府愛称検討

■出席者名簿（敬称略・令和3年10月12日時点）

【区分】	【所属団体名】	【氏名】
会長	（公財）防府市文化振興財団	河村 俊之
副会長	防府市	能野 英人
委員	防府市文化協会	岡本 早智子
〃	大村能章顕彰会	池永 光男
〃	防府商工会議所	松田 和彦
〃	（一社）防府観光コンベンション協会	田村 裕之
〃	防府地域振興（株）	藤本 尚志
〃	（株）周防夢座	松田 民三

■会議録

1 開会

2 あいさつ

《文化・スポーツ課長あいさつ》

本日はお忙し中お集まりいただき誠にありがとうございます。この会議は、昨年開催された防府駅周辺まちづくり協議会で出された意見を踏まえ、それを具現化するためのアスピラートにおける具体策を審査検討して頂くものです。本日は忌憚のないご意見をよろしく願います。

3 委員自己紹介

4 会長・副会長の選任

会長には河村委員を、副会長には能野委員が選任された。

《河村会長あいさつ》

アスピラートとしては防府市の文化を発信する場であると同時に、市民の皆様いろいろな文化を発信してもらう場ということで日々頑張っているが、皆さんにもご意見いただきたいと思いますので、本日はよろしく願います。

5 協議事項

会議の公開について

- ・ 公開とする。
- ⇒異議なし。

会議の記録について

- ・ 会議で出された意見等の概要は、会議終了後、要旨を市ホームページで公表する。
- ⇒異議なし。

(1) アスピラート活性化のコンセプトについて

- ・ 議事内容について事務局より資料を用いて説明。

内容についてのご意見等なし

(2) アスピラートの市民スペース等のリニューアルについて

- ・ 議事内容について事務局より資料を用いて説明。

内容についてのご意見

【A委員】

- ・ 市民ギャラリーの設置については、賛成です。コンセプトの中の文化の発信の場という形でいけば、市民ギャラリーでいろんな活動を発信していければ良いと思う。利用者の定着、利用機会を増やしていく、市民に親しみやすく使いやすい場所にするということであれば、無料で利用できると良いと思う。
- ・ 大村能章の部屋は2階に移設、山頭火の部屋は廃止になり、その役割は山頭火ふるさと館に継承されたということだが、私も山頭火ふるさと館には何回か行きました。今はコンベンション協会が指定管理者で、正しく運営されていると思うが、入り口が西側ということから、山頭火ふるさと館は少し入りにくいなと感じることがある。天満宮に来られた方が入りやすい形でいけば入口が東側にあって、展示スペースとか一室がうまく活用されると良いと思う。アスピラートの山頭火の部屋はなくなりましたが、山頭火ふるさと館では更に誘客に努めていくということも必要なのかなと思う次第です。

【事務局】

貴重なご意見ありがとうございます。山頭火ふるさと館の改修となると、予算も伴いますので、ご意見を踏まえて前向きに検討します。

【B委員】

市民ギャラリーに先立って、文化団体の発表の場として、旧山頭火の部屋を使っている。多くの文化団体から利用したいという希望があった。アスピラートの2階、3階は専門的なところで、これも大事だが、あそこまで本格的なところでは今は出来ないが、活動を発表したい、見せたい、皆さんと一緒に鑑賞したいという団体が多いと感じた。団体の自主性、主体性も大事にしながら、そういう活動の場になれば良いと思う。

【C委員】

文化活動も色々あり、内容によっては、音が出るケースもある。今は展示がメインで、音の発表に自由があまりない。優しいクラシックなら良い、歌謡曲は駄目だという感覚があるように感じる。発表の場が本当に限られてきているから、30回目の

大村能章祭りでも出場者が多くなっている。作品展示だけでなく、音楽で賑やかすということも考えてもらいたい。多種多様な文化団体が活用しやすい場所になれば良いと思う。

【事務局】

貴重なご意見ありがとうございます。文化活動も幅広くある。音楽についてもくみ取りたいと思う。運用面については、指定管理者の文化振興財団と文化協会と三者でしっかりと協議していきます。

【D委員】

現在の旧山頭火の部屋での文化活動を見させていただいているが、元々の作りのままで、使いにくいと思うが皆さん工夫して展示している。その点からすると市民ギャラリーは皆さんが使いやすい、多目的な空間となれば良いと期待している。

(3) アスピラート・ルルサス防府一帯の愛称について

- ・ 議事内容について事務局より資料を用いて説明。

内容についてのご意見

【A委員】

これからの時代を担う高校生たちが選ぶというのは大切だけど、市民の皆さんとか企業の皆さんから募集をかけることにより、そこを意識すると思います。意識させるというところ等を含めて、もう少し幅広く募集をしても良いと思う。その時にはコンセプトの文化の発信の場であるといった部分をしっかり提示しないと、単純に名前をくっつけた「ルルアス」とかばかりになる恐れがある。この場所がどういう場所かというところを募集の際には示した方が良い。

【C委員】

やっぱり防府商工に特化しないで、やるなら高校生全員でも良いと思う。

【事務局】

貴重なご意見ありがとうございます。ご意見を踏まえて、全高校にするなど、募集については、内部で詰めさせていただく。次回は、集まった愛称を皆様方にご報告し、その中から何点か選んでいただきたいと考えているので、よろしく願います。

(4) その他

【C委員】

「ルルサルとアスピラートが一体となってということは、文化福社会館がなくなり学習するいろんな部屋はルルサスを中心に、発表の場はアスピラートになると思うが、ルルサスでは十分でないように感じる。文化センターというのは、社会教育法で決められた中央公民館であり、持つべき部屋がちゃんとあり、全て揃ってないといけない。市内の人が集まって学習したりする所が中央公民館であり、それをあれがない、これがないでは困ると思う。生涯学習課と文化・スポーツ課でしっかりやっていただけたらと思います。

【事務局】

ルルサスに文福の一部の移転というお話をいただいたときにどのような形になるのか、音楽はどうするのか、音が出るのはどうするのか、色々ご提案いただいている。その一つ一つを生涯学習課もアスピラートも文化・スポーツ課も一体となって解決していこうと思っております。

閉会
